



「小学生考案！  
ふるさと魅力 UP 返礼品の授業」  
開催について（第6回） \* 最終回

令和7年10月23日

（問い合わせ先）

担当：企画政策課ふるさとつながり係 白瀬

直通電話：0248-88-9131

Eメール：kikaku@city.sukagawa.lg.jp

報道機関 各位

須賀川市では、若い世代の意見やアイデアを市政に反映する取り組みの一環として、市立義務教育学校稲田学園6年生25名を対象に、総合的な学習の時間を活用し「ふるさと納税」の授業を実施しています。次回、10月29日（水）には、これまでの授業の集大成となる授業が行われます。

児童たちは全5回の授業を通じて、ふるさと納税の仕組みやインターネットでの販売に必要な基本的な知識を学んだほか、返礼品の提供元である企業から製品の特長や包装方法を、プロのカメラマンから撮影方法を教わりました。その後、「企画チーム」「おもてなしチーム」「写真チーム」に分かれ、小学生ならではの発想を生かして、返礼品の魅力を高める活動に取り組みました。

第6回の授業では、返礼品の最終内容の確認を行い、実際に寄附を募る「ポータルサイト」のページを確認した後、寄附の受付を開始する予定です。

ご取材を希望される方は、事前にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

記

1 日時と内容

	日時	校時	内容	取材申込締切日
1	6月13日（金）	5・6校時	・ふるさと納税の仕組み、歴史、課題 ・須賀川市の取り組みや返礼品を学ぶ	—
2	6月19日（木）	5校時	・インターネットでものを売るって何？	—
3	6月26日（木）	3校時	・返礼品を作るのに必要なことは？	—
4	7月3日（木） 10:35～12:15	3・4校時 (90分)	・みんなで返礼品を作ろう	—
5	7月17日（木） 10:35～11:20	3校時 (45分)	・返礼品の内容を発表しよう	—
6	10月29日（水） 13:30～15:15	5・6校時	・インターネットで完成したページを確認して、 募集を開始しよう	10月27日（月）

2 場所

須賀川市立義務教育学校稲田学園6学年教室（須賀川市岩淵字岡谷地1番地）

3 取材について

①媒体名 ②取材予定者氏名・人数 ③当日連絡先を、上記市担当者までメールにてご連絡ください。

## 【 参考 】

### 1 授業の目的

「ふるさと納税」をきっかけに、子どもたちが地域の魅力に気づき、地元農家や生産事業者との交流を通じて、ふるさとの多様な価値を実感する機会を創出します。また単なる地域学習に留まらず、効果的な情報発信の方法や、マーケティングの基礎的な視点を養うことを目的としています。

～それぞれの立場での目的・目標～

- 児童 : ふるさとを知り、ふるさとを愛する心を育て、社会や未来を拓く力を養う。  
また、ふるさとの良さを再認識する。(稲田学園の目指す児童生徒像に通じる)
- 学校 : 返礼品の改良・開発をとおり、生徒に成功体験を与え、モチベーションを向上させる。  
稲田学園独自の取組みを近隣住民へ発信する。
- 市 : ふるさと納税の寄附額の増進を図る。

### 2 授業開催へ至った経緯

昨年度、当時小学5年生だった児童らが市議会を見学した際に提出された、斬新なふるさと納税の返礼品案がきっかけでした。その提案は、市担当者や関係者を深く感嘆させ、その実現に向けて具体的な検討をし、授業の実施に至りました。

### 3 須賀川市立義務教育学校 稲田学園とは

令和3(2021)年4月、須賀川市初の義務教育学校として開校

…小中学校の9年間を、ベーシックブロック4年/ミドルブロック3年/マスターブロック2年の3つに区分し  
教育活動を行う

…小中学校の教員が同じ校舎に勤務している利点を生かし、相互乗り入れ授業を実施

### 4 講師について

中村 英敏 (なかむら ひでとし) 愛知県出身 愛知大学社会学部卒業

社会教育主事の資格を保有し、高校生対象の返礼品に関する授業経験を持ちます。

所属 : 株式会社エールアップ 代表取締役

業務内容 : 民間企業の新規商品開発、一次事業者の販路構築コンサルティング、海外貿易事業  
ふるさと納税コンサルティング、地方自治体の地方創生コンサルティング、スタートアップ支援、  
EC サイト管理運営、クラウドファンディングコーディネーター